

2023年6月14日
住友生命保険相互会社

「大野和士のこころふれあいコンサート2023」への協賛について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、世界を舞台に活躍する指揮者 大野 和士氏が主催するボランティアコンサート「こころふれあいコンサート」に協賛いたします。

1. 趣旨

世界的な指揮者で、現在、東京都交響楽団およびブリュッセル・フィルハーモニック音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督を務める大野 和士氏は、普段コンサートを聴きに行くことが難しい方々にも、気軽に音楽と触れ合う機会を提供したいという思いから、2008年より国内の病院・高齢者施設等でボランティアコンサート「こころふれあいコンサート」を開催されています。

住友生命は、社会福祉・文化両面に亘る地域社会への貢献の観点から、「こころふれあいコンサート」の趣旨に賛同し、2008年の開始初年から協賛しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け2020年以降中止となっていましたが、今年、4年ぶりの開催が決定しましたので、今回も引き続き協賛いたします。

2. コンサート概要

a. 対象

原則として各病院・施設の入院患者・入居者とそのご家族等関係者様となります。

b. 日時・会場

7月13日（木）	14:00～	神奈川県立こども医療センター（神奈川県）
7月14日（金）	14:00～	介護老人保健施設熊野ゆうあいホーム（広島県）
7月15日（土）	14:00～	住友病院（大阪府）

*すべて入場無料です。

c. 内容

大野 和士氏が自らピアノを弾き、新進気鋭の声楽家達の歌とともに、クラシック音楽の醍醐味を紹介します。古今東西のオペラなどを題材に、様々なエピソードを交えながら、分かりやすくそしてユーモアたっぷりのトークで解説します。

◇大野 和士（おおの かずし）氏 プロフィール

東京都交響楽団およびブリュッセル・フィルハーモニック音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督。

1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、東京都交響楽団指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者（現・桂冠指揮者）、カールスルーエ・バーデン州立劇場音楽総監督、モネ劇場（ベルギー王立歌劇場）音楽監督、アルトゥーロ・トスカニーニ・フィル首席客演指揮者、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督を歴任。

2017年5月、9年間率いたリヨン歌劇場は、インターナショナル・オペラ・アワードで「最優秀オペラハウス2017」を獲得。自身は2017年6月、フランス政府より芸術文化勲章「オフィシエ」を受章、またリヨン市からリヨン市特別メダルを授与された。また、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ハンブルクオペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、イスラエル・フィル、ボストン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ローマ・サンタチェチーリア管、ロンドン響、ロンドン・フィル、ハレ管弦楽団、BBC交響楽団、パリ管、フランス国立放送フィル、ウィーン響、スイス・ロマンダ管、ヒューストン響といった世界各地のオペラハウスおよびオーケストラでの客演も枚挙にいとまがない。その類まれな指揮は、「繊細な美しさ、満ちあふれる威厳、心を揺さぶる感動の渦に包まれた最高のコンサートをもたらした」と高い評価を受けている。

2019年、自身が発案した国際的なオペラ・プロジェクト「オペラ夏の祭典2019-20 Japan ↔ Tokyo ↔ World」が大きな話題を集め、2019年『トゥーランドット』、2021年『ニュルンベルクのマイスタージンガー』とともにクオリティの高い記念碑的な公演として絶賛された。また、新国立劇場では、2019年に西村朗『紫苑物語』（世界初演）、2020年に藤倉大『アルマゲドンの夢』（世界初演）、2021年にワーグナー『ワルキューレ』、ビゼー『カルメン』（新制作）、渋谷慶一郎『スーパーエンジェル』（世界初演）、2022年にドビュッシー『ペレアスとメリザンド』、ムソルグスキー『ボリス・ゴドゥノフ』を指揮、大きな話題を呼んだ。

フランス批評家大賞、日本芸術院賞ならびに恩賜賞、サントリー音楽賞、朝日賞など受賞多数。紫綬褒章受章。文化功労者。

以上